

スマイルゆい便り

管理者 古村久美子

残暑お見舞い申し上げます。皆様の周りの高齢者の方はお元気でこの夏をお過ごしになられたでしょうか。「食欲が落ちた」と心配された利用者さんが数人いらっしゃいましたが、みなさん看護やケアを受けられて、乗り越えられました。みなさん健やかに夏を乗り切られてうれしく思います。

さて、前回に引き続き、「結」の会のお話になります。計画していたセミナーの開催にこぎつけることが出来ました。別紙案内をご覧ください。交ざって暮らすことは煩わしいけど、それが生活＝生きていること。そんな暮らしの中に高齢者の役割・居場所ができる・・・と教えて頂いたのが、もう一人のあこがれの男性・吉田一平氏(愛知県・長久手)です。この出会いも私の宝です。私の中に信念のように刻まれています。

東日本大震災で、絆の大切さに気付かされましたが、阪神大震災後も**共生の住まい**が出来ています。介護保険の財源も取り崩しが始まろうとしています。保険料の値上げも・・・。もっと大局で私たちも高齢期の生活を考えておかなければなりません。介護サービスに頼るだけでなく、自らの老後の暮らしを仲間と創っていきませんか。その過程が元気の源(介護予防)となると考えます。「結」の会は住まいと共に暮らしを考えます。



本業の方も、スタッフで共通認識を持ち、一丸となって利用者さん第1主義で取り組んでおります。公正中立・自立支援がモットーです。今後ともよろしくお願い致します。

我が家の家庭菜園

スマイルゆい 介護支援専門員 西 くみ

我が家の家庭菜園は今、トマトやキュウリなどの夏野菜の収穫が終わり、ナスとつるむらさきがまだ日々の食材として活躍している状況です。かぼちゃはようやく小さな実をつけはじめました。これからは年末の食糧確保に向け、じゃがいも・大根・ねぎなどを植えます。



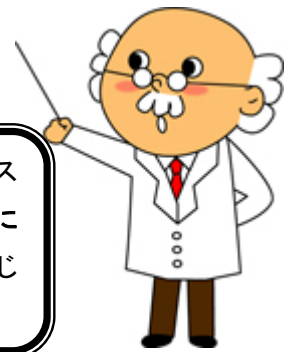
野菜作りを本格的に始めたのは、ゴミの分別が厳しくなったときに、生ゴミに落ち葉やおがくずを加えて堆肥を作ろうと思ったことがきっかけです。以来、無農薬・天然堆肥にこだわって野菜を作っています。

とれたての野菜はなんでも味が違います。トウモロコシや枝豆は、時間を置かず炊かからず鍋で茹でると、買って来たものとは違う種類では!と思うほど美味しいのです。

旬の物、新鮮な物の素材の味を活かして美味しくいただくことが私の健康の秘訣です。



震災の影響で遅れていた介護保険法の改正案が6月15日に可決成立しました。



医療・介護・予防のみならず福祉サービスを含む様々な生活支援サービスが包括的に日常生活圏域で、入院・退院・在宅復帰を通じて切れ目なく継続的に提供されること

- ① 医療との連携強化
 - ・24 時間対応の在宅医療の充実強化
 - ・介護職員によるタン吸引など医療行為の実施
- ② 介護サービスの充実強化
 - ・特養などの介護拠点の緊急整備
 - ・24 時間対応の定期巡回・随時対応サービスの創設など在宅サービスの強化
- ③ 予防の推進
- ④ 見守り・配食・買い物など多様な生活支援サービスの確保や権利擁護など
- ⑤ 高齢期になっても住み続けることのできる高齢者住まいの整備



講演会のお知らせ「元気なうちに考える老後の住まい方」セミナー ～第2弾～

明るいシニアライフをつくる会「結」が第2回の講演会を開催します。ふるってご参加ください。

“超高齢化社会に求められる新しい住まいのかたち”の提案 ～未来の長屋～



2011年10月15日(土)
時間 13:00～16:30(受付 12:30～)
場所:大分市美術館研修室
大分市大字上野 865 番地
(大分市上野公園内)
参加費:無料



1部 13:00～13:45
明るいシニアライフをつくる会「結」活動紹介 代表:古村久美子
2部 13:45～16:30
「人生第2ステージの住まい方と暮らし方」～人とのつながりを自分らしく楽しむ暮らし～
講師:コレクティブハウジング社 狩野 三枝 先生